

2021年10月から2022年1月の期間中に
当院回復期病棟で血液検査を受けた患者様へ
(医学系研究に関する情報)

恒心会おぐら病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、この研究においてご自身のデータの使用を望まない場合などには下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

カルニチン欠乏症についての後方視的疫学研究

【研究機関】

恒心会おぐら病院 リハビリテーション科

【研究責任者】

恒心会おぐら病院 リハビリテーション科 重信恵三

【カルニチンとは】

カルニチンは、体内にある栄養素の一つです。カルニチン欠乏症におちいると、つかれやすくなったり、意識障害やけいれん、こむら返りなどが起こると言われています。

【研究の目的】

上記のように、カルニチンの不足がさまざまな有害な症状をもたらすことが注目されています。しかし、カルニチンが不足している人がどのくらいいるのか、どのような人でカルニチンが不足するのか、詳しくわかっていません。この研究の目的は、回復期病棟に入院中、または入院予定で血液検査を行った患者さんにおいてカルニチンの数値を調査し、関連する症状などを検討することです。この研究を行うことにより、カルニチン欠乏症の予防や治療を考える際に必要な情報が得られることが期待できます。

【研究の方法】

回復期病棟で過去にカルニチンの検査が行われたデータを再度解析します。これにより、カルニチン欠乏症の方がどれだけいるのかという、有病率を中心に検討します。

【対象となる患者さん】

2021年10月から2022年1月にかけて回復期病棟で血液検査を受けた患者さんのデータを使用させていただきます。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

食事内容、意識レベル（JCS、GCS）、血液検査（カルニチン、アンモニア、BUN、CRE、Alb、血糖値、AST、ALT、Na、K、Ca、Cl、Hb）
身長、体重、使用薬剤（抗てんかん薬、抗生剤）、使用した経管栄養剤、経管栄養の開始時期、FIM、HDS-R、臨床症状の有無（痙攣発作、筋緊張、筋力、こむら返りの有無、横紋筋融解症、嘔吐、心肥大など）、画像検査など

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や生年月日など、患者さんを直接特定できる個人情報を匿名化します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究はすでに得られているデータのみを使用します。特別の費用は発生しません。この研究に対する企業等からの資金および労務提供はありませんので、この研究において利害の衝突は発生しません。

【この研究でのデータ使用を望まれない患者さんへ】

この研究でのデータ使用を望まれない場合には、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータは使用致しません。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなどでは、上記の措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

恒心会おぐら病院

連絡先

TEL：0994-44-7171

FAX：0994-40-2300

〒893-0023 鹿児島県鹿屋市笠之原町27番22号

担当医師名： リハビリテーション科 上野真